

第9章「交互作用を測る」専門用語

effect-measure modification

作用指標の修飾。ある効果（作用）の測定値（指標）が何か他の変数の値が変わるのに伴って変わってしまうという場合に共通した状況を指すコトバ。疫学者はしばしばこの状況を指すコトバとして effect modification（効果の修飾 / 作用の修飾）を用いる。

疫学辞典には、effect measure（作用指標）として、「ある因子の作用を、健康影響の頻度あるいはリスクとして測定した量。以下の3種類の尺度がある。第1に、ある因子が原因となる患者の割合を示す寄与割合。第2に、ある因子が疾患のリスクあるいは率を相対的に増加させる量を示すリスク差あるいは率差。第3に、ある因子が疾患のリスクあるいは率を相乗的に増加させる量を示すリスク比あるいは率比。」とある。第3章の effect の説明も参照のこと。また、effect modifier（作用修飾因子）として、「（同義語：conditional variable 条件付変数，moderator variable 調節変数）研究対象とする推定原因因子の作用を修飾する因子。例えば、年齢は多くの場合作用修飾因子として働く。また、抗体保有状況は病原体への曝露の結果に対する作用修飾因子である。作用の修飾は、研究対象である因子に対する特定の作用指標を、その他の因子の程度に従って変化させることにより検出される。」とある。

biologic interaction

生物学的交互作用

statistical interaction

統計学的交互作用

susceptibility

感受性。その感染源に対しての免疫をもっていないこと。

predisposition

素因

promotion

促進

predisposing factor

素因

cofactor

補助因子